

「Fukuoka Art Next」今月のアート（6月）

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、暮らしのなかで身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む「Fukuoka Art Next」を推進します。

市民がアートを身近に感じられるよう、福岡で活躍しているアーティストの作品を、月初めの定例会見において紹介します。

■ アーティストについて

木森 圭一郎（きもり けいいちろう）

1984年福岡県生まれ、福岡県在住。現在、九州産業大学造形短期大学部（福岡市東区）に特任講師として勤務。

2014年九州産業大学大学院博士後期課程修了。人の身体の骨格や筋を研究し、身体をテーマにした絵画を制作し続けているアーティストです。2022年「Fukuoka Wall Art Project」入賞。

■ 作品について



作家名 : 木森 圭一郎
作品名 : フィジカル・コンセプト・スキン・エスロク・ナンバーゴ
Physical Concept Skin-S6 #5
(日本語訳 : 肉体概念 肌-S6 #5)
制作年 : 2019年
材質技法 : ミクストメディア (混合技法)
サイズ : 41.0×41.0 (cm)

一見、何が描いてあるか分からない抽象絵画のようで、画の表面には錆びた鉄板のような細かい凹凸やざらつきが見られます。

実は、作家は絵の表面を肌に見立て、色や質感、肌ざわり等を表現しようとしています。あらためて作品を見てみると、日焼け、そばかす、傷跡、吹き出物など、長い年月を生きてきた人の肌のように、その人生の痕跡すら感じられるようです。

【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課 担当：山木、岩永

TEL : 714-6054 FAX : 714-6145 E-mail : yamaki@fukuoka-art-museum.jp